

こどものしゅうへん 2024年7月

●草津市立図書館の行事 / 電話 077-565-1818

●木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け) てあそびやえほんをよむよ！



7月11日(木) 11時00分～11時30分

2階 会議室

キッズデー

●こどものつどい (幼児～小学校中学年向け) 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど

7月13日(土) 2時30分～3時15分

3階 大会議室

キッズデー

●夏休みオリンピッククイズ (幼児～小学生向け)

7月26日(金)～8月10日(土) 10時00分～18時00分

オリンピックやスポーツに関するクイズに挑戦しよう

1階 児童コーナー

●おはなしのじかん (幼児向け) えほんやかみしばいをよむよ！

7月27日(土) 2時30分～3時00分

1階 えほんコーナー

○南草津図書館の行事 / 電話 077-567-0373



○こどものつどい (幼児～小学校中学年向け) 草津おはなし研究会によるパネルシアターなど

7月13日(土) 11時00分～11時45分

市民交流プラザ 音楽室

キッズデー

●木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け) てあそびやえほんをよむよ！

7月25日(木) 11時00分～11時30分

えほんコーナー

キッズデー

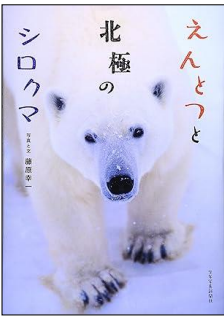
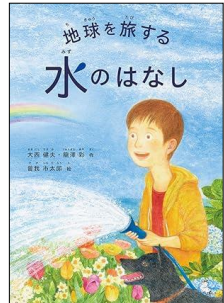
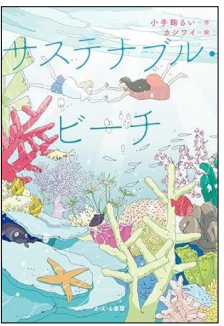
○おはなしのじかん (幼児向け) えほんやかみしばいをよむよ！

7月27日(土) 2時30分～3時00分

えほんコーナー

行事について

会議室・音楽室で開催の行事は、当日開演15分前から入場していただけます

『わたしたちの家が火事です』 ジャネット・ウィンター／文・絵 福本 友美子／訳 （鈴木出版） Eス スウェーデンでしずかにくらしていたグレタは、授業で環境の話をし、地球の温暖化について考えるようになりました。このままでは生きられる場所がなくなると思い、グレタは気候変動について考えてもらうため、ストライキをします。グレタの声は、やがて世界じゅうにひろまっていきました。 	『わたしたち地球クラブ』 キャリー・ファイヤーストーン／著 服部 理佳／訳 （小学館） 933.7フ 気候変動によって生態系がこわれていくことに胸を痛めるメアリーは、中学校に新しくできた、環境問題を考える「地球クラス」に合格しました。クラスメイトもそれぞれ別の問題に関心があり、それらを解決するためのプロジェクトをこの町で立ち上げることになります。果たして、うまくいくのでしょうか？ 	『えんとつと北極のシロクマ』 藤原 幸一／写真と文 （少年写真新聞社） Eシ 北極の3000キロメートル南にあるえんとつから、石油やゴミをもやした黒いけむりが出て、北極にとどきました。けむりのなかには地球をあたためるガスがはいっているので、北極があたたくなり、氷がとけています。そのせいでえさのアザラシがつかまらず、死んでいくシロクマがふえているのです。 	『おいでよ森へ』 「おいでよ森へ」プロジェクト／編 （ダイヤモンド社） 650 地球にとって、森はなくてはならないものです。木が光合成して酸素をつくり、枯れ葉からできた栄養たっぷりの土が食べ物や育ててくれるおかげで、動物は生きていけるのです。しかし今、世界中で森が焼かれ、畑や牧場が作られています。森と人がともに生きるためには、何をすればいいのでしょうか？ 
『プラスチック星にはなりたくない！』 ニール・レイトン／作・絵 いわじょう よしひと／訳 高田 秀重／日本語版監修 （ひさかたチャイルド） 519 わたしたちの身のまわりには、プラスチックでできたものがたくさんあります。とても便利ですが、自然のものとちがって土にかえりません。外に捨てられたプラスチックは、細かくくだけて海に流れ、ずっと残るので、生き物をきずつけます。地球を守るために、わたしたちにできることを考えてみましょう。 	ちきゅうのために なにができる？  7月1日(びわ湖の日)を含む一週間は「環境にやさしい週間」です	『風の島へようこそ』 （福音館書店） Eフ アラン・ドラモンド／さく まつむら ゆりこ／やく デンマークのサムス島は、政府の「島で使うエネルギーをすべてその島でつくる」という計画にえらばれました。リーダーのハーマンセンさんが自然の力でエネルギーをつくろうとよびかけても、だれも動きません。でも停電がおきたとき、風車で発電した家だけへいきだったと知り、みんなの考えが変わります。 	『おさるのジョージ 木をうえよう』(岩波書店) M.レイ／原作 H.A.レイ／原作 福本 友美子／訳 Eイ モニカ・ペレス／文 アンナ・グロスニクル・ハインズ／画 ジョージは、はくぶつかんで「みんなでちきゅうをまもりましょう」というてんじをみて、かんきょうについてしりました。みんなで木をうえたり、かみをあつめてリサイクルしたりするつどいがあしたあるとわかり、ジョージもおてつだいすることになります。どんなかみならリサイクルにもっていけるでしょうか。 
『地球を旅する水のはなし』 おおにし たけお ぶん りゅうさわ あや ぶん 大西 健夫／文 龍澤 彩／文 そ が いちたろう え 曾我 市太郎／絵 （福音館書店） Eフ 水は、雪やすいじょうきにすがたを変え、地球を旅しています。雨として空からふってくると、地面にしみこみ、やがてたっぷりの栄養をふくんで森からわき出ます。その水が海へ流れこみ、小さな生き物がそだつと、それを魚が食べ、その魚を人間が食べます。水は、旅をしながら地球のいのちをつないでいるのです。 	『知ってる？アップサイクル 1・2』 「知ってる？アップサイクル」編集委員会／編 （さ・え・ら書房） 518.523 いらなくなったものを、素材や形のとくちょうを生かして価値あるものにつくりかえるのがアップサイクルです。たとえば、すてられる消防ホースで水に強いバッグをつくる会社があります。家にある古着でぬいぐるみをつくるのも、リっぱなアップサイクル。いちどちょうせんしてみませんか？ 	『はじめてのちきゅうえほん』 さいとう のりお かんしゅう てづか あけみ／さく・え 斎藤 紀男／監修 てづか あけみ／さく・え （パイインターナショナル） 450 みなさんが知っているように、ちきゅうには水があり、生きものがくらしています。この本では、「ちきゅう上で使える水は0.01%」「今、見つかったいる生きものは137万種」というように、ちきゅうのいろいろなことを、すうじでくわしくせつめいしています。ちきゅうについて、もっと知ってみませんか。 	『サステナブル・ビーチ』(さ・え・ら書房) こでまり 小手鞠 るい／作 カシワイ／絵 913.6コ アメリカ人の母と日本人の父を持つ少年・七海は、夏休みでハワイに行ったとき、アーティストの少女・ピカケに出会いました。彼女から海がプラスチックで汚されていることを聞かされ、ショックを受けた七海は、自由研究で海の環境問題を調べるうち、自分も何かしたいと、川のごみ拾いを始めます。 



あたらしくはいったこどものほん



えほん

ナガノさん まっちゃアイスの巻	長谷川 義史	アリス館
あいいろねずみのジャン！ケン！ポン！	江口 ノリコ	あわわ
エリック・カールのグリムどうわ	エリック・カール	偕成社
しごとのどうぐ	三浦 太郎	偕成社
もりのはなやさん	ふくざわ ゆみこ	Gakken
せんろをなぞっておぼえるにっぽんちずでんしゃじてん	くにすえ たくし	視覚デザイン研究所
もし、世界にわたしがいなかったら	アンナ・フォルラティ	西村書店
なかぎゅー！	くせ さなえ	白泉社
フルーツパフェをちゅうもんしました	岡田 よしたか	PHP 研究所
みずうみ色のウィピル	すけの あずさ	BL 出版
のんびりりんこ	おさき えみ	ひかりのくに
できあがり	彦坂 有紀	福音館書店
ねずみくんからのおくりもの	上野 紀子	ポプラ社



(えほんは出版社の順に並んでいます)

よみもの

オンライン！ 27 ラスボス・ゼイメルクと大激突！	雨蛙ミドリ	913.6 ア
空にうかんだエレベーター	安房 直子	913.6 ア
魔女学校のキュービッド 黒魔女さんが通る！！スペシャル	石崎 洋司	913.6 イ
机の下のウサキチ	岡田 淳	913.6 オ
あいたくてたまらない	おくやま ゆか	913.6 オ
学校に行かない僕の学校	尾崎 英子	913.6 オ
おくれてきた名探偵	杉山 亮	913.6 ス
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 吉凶通り 1	廣嶋 玲子	913.6 ヒ
スイッチ！ 14 まさか私が恋なんて！？	深海 ゆずは	913.6 フ
6年1組すきなんだ 短編小学校 4	吉野 万理子	913.6 ヨ
ラビット&ベアー	ジュリアン・ゴフ	933.7 ゴ
スラムに水は流れない	ヴァルシャ・バジャージ	933.7 バ



そのほかのほん

沖縄について私たちが知っておきたいこと	高橋 哲哉	219.906
こんな時どうする？子ども防災 BOOK		369.31
発見がいっぱい！科学の実験		407
すごすぎる絵画の図鑑	青い日記帳	720
コロコロドミノ装置だいずかん	野出 正和	750



よみたいほんがかしだしちゃうのときはよやくしてね！